

# 感恩のこころ

No.11

## 関西福祉科学大学教育後援会 広報誌

保護者の皆様には日頃から教学の支援に多大のご援助をいただき、ありがとうございます。厚くお礼申しあげます。

若者的人口減に伴って、約半数の私立大学で入学定員に満たないことが報じられています。しかし、福科大は今年も定員を満たし、元



### 建学の精神【感恩】を掲げて実直に 教育研究活動に邁進しています

関西福祉科学大学 学長 八田 武志

気な大学として教育・研究活動を継続していることをまず、報告いたします。

大学は第2期（2013年—2017年）中長期計画の3年目に入り、着実に計画を進めています。

社会福祉学部臨床心理学科（定員70名）を心理科学部（定員110名）へと発展的に改組する計画は、文科省より平成28年度からの開設が認められました。これまでの臨床心理学を、より幅広い心理学の新しい動向に対応できる学びを提供できるようになります。また、作業療法専攻の10名の定員増が、そして新たに教育学部（定員100名）を

設置する計画も8月末日付で認可されました。これらのことにより、平成28年度からはこれまでの3学部5学科から、収容定員を増加させて5学部6学科体制で教育研究活動に邁進することになります。

本学は「人の幸せを願う」ところ優しい若者に、感謝の気持ちを大切に過ごし、必要な知識や資格を確実に取得するように、小規模大学の特徴を生かして、きめ細かい対応を目指してきました。その結果、回る成績を挙げることができました。社会福祉士の合格者数は74名

で、全国で12位でした。管理栄養士の合格率は初めて100%となりました。理学療法士の合格率は98.2%、作業療法士の合格率は96.0%と全国平均を凌駕しました。養護教諭の合格者数は現役が13名、既卒者が25名を数え、全国でトップクラスとなりました。このように教育力の具体的成果を向上できたのも、後援会のサポートの賜物であると、改めてご援助に感謝申し上げます。

福科大教職員は卒業生の皆様がいつまでも誇れる母校であり続けるように、建学の精神【感恩】を掲げて実直に教育研究活動に邁進しています。

大学のホームページには大学での教育研究活動だけでなく、さまざまな在学生・卒業生に関する情報をお読みいただけます。ご覧いただきご活用下さいますようお願い致します。



会員の皆様には、日頃より教育後援会活動にご理解とご協力を頂き感謝いたします。

本会は平成17年に組織され、今年10年目を迎えました。10年の節目の年に当たり、設立に携わっていただいた皆様、歴代の役員、会員等すべての関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

本会は、本学キャンパス、高松、和



教育後援会会長 安井 清悟

教育後援会は「大学との連携」と「学

歌山で行う「教育懇談会」の開催、学生の課外活動・進路指導・福利厚生に対する援助など、学生達が社会で活躍する人材として育つよう様々な側面で支援を行っています。

保護者の皆様におかれましては、我が子の健康、学業の状況、就職等、気がかりなことが多いこと存じます。

本会では、保護者と大学の連携を深める場として「教育懇談会」を実施して

### 大学との連携強化にご協力ご支援を

います。

教育懇談会では、学長はじめ教職員の方々と懇談する機会となつておらず、「大学での学び」「学生生活」「就職活動」等について情報交換していただければ幸いです。ぜひ、教育懇談会にご参加いただき、大学の雰囲気を触れていただければと思います。

本会会長として、「大学と共に歩む

事」を念頭に務めて参ります。会員の

皆様に於かれましては引き続き、ご支

援ご協力のほどよろしくお願ひ申し上

げます。



第二部 学科セミナー



第三部 懇親会



第一部 総会

平成27年5月30日(土)大学4号館1階大講義室に於いて、平成27年度関西福祉科学大学教育後援会総会が開催されました。

①平成26年度事業報告案および決算報告書案、②平成27年度役員人事案、③平成27年度事業計画案および予算案

以上の審議事項はすべて承認されました。

すでに会員の皆様には、「報告書」として発送しておりますのでご確認ください。

また、当日の総会に引き続き、第二部では、各学科に分かれての学科セミナーを開催しました。第三部では、教職員と会員の皆様との懇親会

を開催し、第四部では、担当教職員と会員の皆様との個別面談会を行いました。

およそ100名の方に参加いたしました。充実した内容の総会となりました。

## 平成27年度 総会

### 1. 学生の学業および課外活動への助成

(1) 奨賞事業

①学業優秀者表彰

②学術文化・スポーツ活動奨励賞

③社会貢献活動表彰等

④図書館事業に係る助成

⑤海外研修制度の助成

⑥学友会活動の助成・支援事業

⑦就職活動に係る支援事業

### 2. 学生の進路指導への助成

(1) 資格取得に向けた学習活動への助成

(2) キャリア形成に係る自己啓発への助成事業

(3) 就職活動に係る支援事業

### 3. 学生の福利厚生を支援するための事業

(1) 学内における緊急的な病気・ケガ等に対する助成

(2) 学生総合保険の内容充実支援

(3) 学生の健康管理助成

(4) 施設・備品等の充実助成

### 4. 自然災害等による学生の家計急変に対する支援事業

(1) 家計急変による生活困窮学生への奨学金制度

(2) 災害救助法適用地域の学生支援制度

### 5. 本学と会員相互の連携を図る事業

(1) 教育後援会総会の開催

(2) 教育懇談会の開催(大学と共に)

本学および地方開催

(3) 教育後援会広報誌の発行

(4) ホームページの内容充実

### 6. その他本会が必要と認めた事業

(1) 地域社会連携事業への支援および助成

(2) 教員の学術・教育研究および職員の研修に係る助成

(3) 同窓会との相互連携に係る事業

## 平成27年度 事業計画

## 教育懇談会開催

今年度も、本学および高松市と和歌山市の三会場で開催しております。

11月7日(土)に本学で行いました教育懇談会には、多くの保護者の方に出席いただき、教職員との個別面談会、在学生による発表および就職・資格セミナーを行い、好評のうちに終えることができました。

教育懇談会は、保護者の皆様と大学教職員との交流・懇親の場として位置づけており、日頃のご子弟の学修状況、学生生活、就職問題等の情報を直接得ることのできる貴重な機会として定着しています。

11月29日(日)には高松市、12月6日(日)には和歌山市で開催します。万障お繕り合わせの上ご参集いただきますようお願い申し上げます。

**本学会場** 関西福祉科学大学

平成27年11月7日(土) 10時～12時30分

和歌山会場 リーガホテルゼスト高松

(JR高松駅から徒歩10分)

平成27年11月29日(日) 10時30分～

高松会場 ダイワロイネットホテル高松

(南海本線和歌山市駅より徒歩8分)

平成27年12月6日(日) 10時30分～

**高松会場**

**和歌山会場**



昨年度の教育懇親会の様子



和歌山会場

社会福祉学科

## 「平成26年度 関西福祉科学大学 福祉・保育実習セミナー」開催報告



今年2月5日、「平成26年度 関西福祉科学大学福祉・保育実習セミナー」が開催されました。このセミナーは、配属実習が始まつた平成11年度から毎年開かれています。例年、実習指導者の皆さまにお集まりいただき、実習の報告とともに、意見交換を行う貴重な場となっていました。実習先と大学の相互理解を進めようとして大きな役割を果たしています。

平成26年度のセミナープログラムは、「次代を担う専門職」というテーマのもと、実習指導者、教員によるシンポジウム、分科会、懇親会が行われました。当時は、97名もの現場の方々のご参加

をいただき、活発な意見交換が行われました。実習生が自らの関心を大切にしながら、さまざまな実習プログラムを通して学びを深めることができます。実習指導者をはじめ、多くの皆様がお力添えをくださっていることに、教員一同、あらためて感謝を申し上げました。

平成19年の「社会福祉士及び介護福祉士法」改正以降、実習教育の質の向上が求められており、本学としても、実習を受け入れていただいている施設・機関との連携を大切にしながら、実習プログラムやその運用の方法を探つていきたいと考えています。

臨床心理学科

## 「第1回心のケア・フォーラム」開催報告



平成27年3月29日(日)に「第1回心のケア・フォーラム」を大阪国際会議場にて開催致しました。「緩和ケアの心を学ぶ」をテーマに、「特別講演」では淀川キリスト教病院のホスピス看護師として活躍された田村恵子先生(現・京都大学教授)に緩和ケアの基本についてお話し頂きました。次いで、「がん患者会有志のコーラス」を鑑賞し、最

後の「パネル・ディスカッション」では、看護師、心理職、医師により緩和ケアにおける心のケアの現状と問題点について活発な討議がなされ、約200席の会場が満席となる盛会のうちに無事終了致しました。



心理・教育相談センター  
センター長 柏木雄次郎

## 健康科学科

### 教員採用2次試験 対策講座

多くの養護教諭試験合格者を輩出してきた健康科学科では、今年度も8月に教員採用試験対策委員会を中心、現役在籍学生、既卒者の教員採用試験1次合格者を対象に2次試験合格対策講座を開催しました。養護教諭正式採用を目指す卒業生と在学生が相互に高め合いながら、採用試験に備える重要な機会となつたように思います。教員採用試験に合格することは通過点に過ぎませんが、こういった大学で得られ

丸となり、「養護教諭になりたい」学生の個々の想いを実現できるようになります。



平成27年度の教員採用2次試験対策講座の様子

健康科学科では、2年生、3年生を中心、インターンシップへの参加を強く推奨しています。将来の就職先として興味を持つている業界で、4日から10日間程度、実践的な就業体験をすることによって、興味・関心のある業界・職種への理解を深め、将来のキャリア形成に繋げることができる重要な機会です。今年度も、健康科学科から、8月・9月に、大学コンソーシアム大阪主催、堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会主催のプログラム、健康科学科独自のインターンシップに参加しました。大学での学びを再確認、再構築し、生涯学び続けることのできる力を培えよう、そんな経験を積んでもらえます。



インターンシップ実習の報告の様子

たらと思っています。インターンシップでの経験を振り返り、自分の将来に活かすためにも、自分自身が感じた成長の価値づけ、これから課題などの気付きについての報告を平成28年1月頃に開催する予定です。健康科学科では、今後もインターンシップでの経験を大切にし、取り組みを行っています。

たるよに支 援していく たいと思つて います。

た学びは将来教員として働く際の土台、原点になっているようです。我々健康科学科の教職員にも力が入ります。今後も、教職員も学生と一緒に、

平成26年度 同窓会  
第5回 福祉栄養学科部会・交流会  
第1回 栄養士・管理栄養士研究会

## 福祉栄養学科

### 第1回同窓会・管理栄養士研究会開催

平成27年2月14日(土)に同窓会福祉栄養学科部会、および栄養士・管理栄養士研究会が開催され、154名(卒業生28、在学生116、教員10)の参加で盛会となりました。

研究会では、

兵庫県立大学 先端食

科学

研究センターの吉村美紀先生による「高齢者用食品の基礎から応用研究まで」のご講演と卒業生による研究発表がありました。研究方法等について多くの質疑応答があり、関心の高さがうかがえました。

また、卒業生3名からそれぞれの職場での管理栄養士の仕事の紹介がありました。仕事に誇りと情熱を持って取り組んでいることが伝わり、在学生からは「企業志望だったが、専門職にも魅力を感じた」「活躍している先輩を見て勇気づけられた。」などの声がありました。



今年度も関西福祉科学大学附属総合リハビリテーション診療所にて、月に1度、健康フォーラムを開催しております。診療所や本学の保健医療学部に所属する理学療法士や作業療法士による講演に加え、新たに本学の言語聴覚士による嚥下（食物の飲み込み）や脳の機能等に関する講演も予定しております。近隣地域にお住まいの方のお役にたてるよう、日々の健康に役立つトピックスをわかりやすく説明しております。関西福祉科学大学附属総合リハビリテーション診療所のホームページでも紹介しております。是非、ご覧下さい。

診療所は、リハビリテーション学科の学生が臨床実習や授業で使用することで、実践力を磨く良い場にもなっております。



第1回「知って得する①～腰の痛み編～」(6月30日開催)において、腰痛予防のために自宅で簡単に出来る体操を行っている様子です。「勉強になりました。」「楽しい場所でした。」など、好評でした。

今年度も関西福祉科学大学附属総合リハビリテーション診療所にて、月に1度、健康フォーラムを開催しております。診療所や本学の保健医療学部に所属する理学療法士や作業療法士による講演に加え、新たに本学の言語聴覚士による嚥下（食物の飲み込み）や脳の機能等に関する講演も予定しております。近隣地域にお住まいの方のお役にたてるよう、日々の健康に役立つトピックスをわかりやすく説明しております。関西福祉科学大学附属総合リハビリテーション診療所のホームページでも紹介しております。是非、ご覧下さい。

## 健康フォーラムを開催しています！



福祉栄養学科では、今年度入学した新入生を対象に、学修習慣の確立を目的とした初年次教育を実施しました。平成27年5月16日(土)を皮切りに7月18日(土)までに計6回のプログラムを企画し（7月18日は台風接近のため中止）、ほぼすべての学生が参加しました。午前中は、主に授業で使用しているノートの整理を行い、午後は苦手科目の復習に取り組みました。また、プログラム初日には福祉栄養学科4回生が、白



この取り組みが、春学期の定期試験や秋学期、さらには2回生以降の授業に向けた学修習慣の確立に良い影響をもたらすことを期待しつつ、今後とも学生へのサポートを継続して参りたいと考えております。

## 初年次教育プログラム「学修習慣の確立」を実施しました！

### 福祉栄養学科

# 平成26年度 就職状況について

平成26年度卒業生の就職状況につきましてご報告致します。

大学全体での就職率(就職希望者に占める就職者の割合)は98.5%と、例年同様、全国の大学就職率(96.7%※1)を大きく上回る高い就職率となりました。

学科別では、社会福祉学科97.4%、臨床心理学科93.9%、健康科学科100%、福祉栄養学科100%、リハビリテーション学科100%となっております。平成26年度も多くの卒業生が、学科での学びを活かすことのできる就職先に就くことができました。

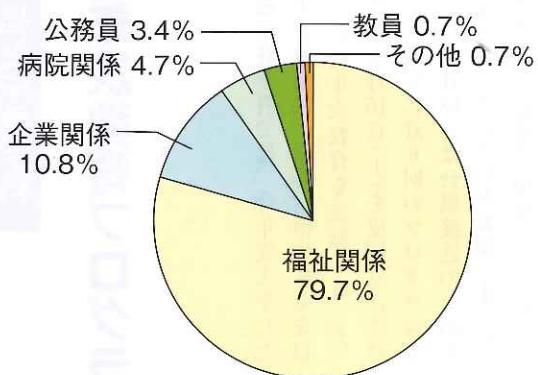
また、卒業生全体に占める就職者の割合は、大学の全国平均が69.8%(※1)なのに対し本学では88.0%と18.2ポイントも上回っており、本学の就職率の強さが表れる結果となっています。

※1) 文部科学省大学等卒業者の就職状況調査(平成27年5月19日)より

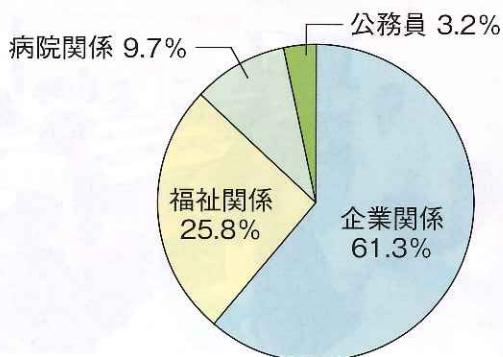
	大学全体	社会福祉学科	臨床心理学科	健康科学科	福祉栄養学科	リハビリテーション学科
卒業者数	451	174	50	71	75	81
就職希望者数	403	152	33	65	73	80
就職者数	397	148	31	65	73	80
就職率	98.5%	97.4%	93.9%	100%	100%	100%
進学者数	9	1	6	0	2	0

## 就職決定者の業種内訳

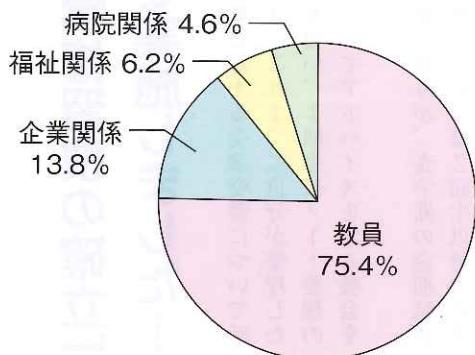
社会福祉学科



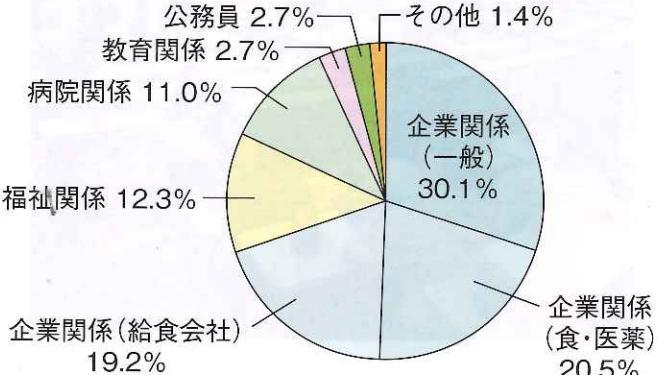
臨床心理学科



健康科学科

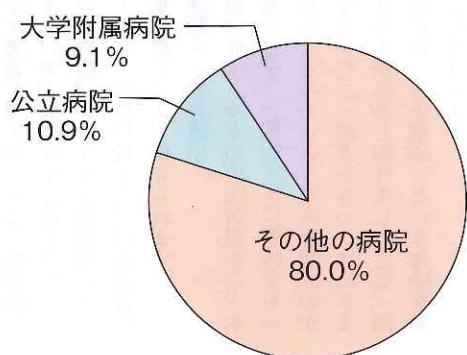


福祉栄養学科

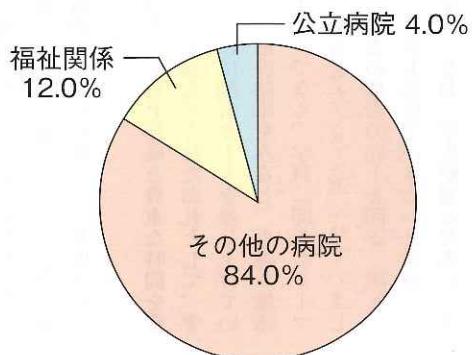


## 就職決定者の業種内訳

### リハビリテーション学科 理学療法学専攻



### リハビリテーション学科 作業療法学専攻



## 地域連携センター開設のお知らせ

平成27年9月28日より有文館1Fが新たに地域連携センターのスペースとして生まれ変わりました。地域連携センターは学園全体における地域連携及び地域貢献活動に関する企画を行うセクションです。現在、企画第1号として地域の子どもを対象にしたスポーツ教室が今年の8月から実施しており、その他では柏原市とのタイアップ事業として、本学の学生がモデルとして市の広報誌で市内のお店を紹介する事も行っています。

今後も地域と連携した様々な企画を実施していく予定です。地域連携事業に興味のある学生の方は是非一度、お気軽に地域連携センターまで遊びに来てください。

今後も地域と連携した様々な企画を実施していく予定です。地域連携事業に興味ある学生の方は是非一度、お気軽に地域連携センターまで遊びに来てください。



## 成績の発送について

本学では、保護者の方々へ成績を送付し、学修状況をお知らせしております。発送は年に2回、春秋の各学期終了後に行っております。

なお、学生様ご本人には、定められた期日よりUNIVERSA L PASSPORT（在学生向けwebサービス）上にて成績をご確認頂けます。

により、学生の皆様へのより良い教育指導へと結びつけていきたく思いますので、ご確認の程よろしくお願い申し上げます。

また、本学では教育懇談会を年に2回（5月、11月）実施し、希望される保護者様対象に本学教員との面談も行っています。学修状況等で何かご不明な点やお気づきのことがございましたら、ご来校頂き、さらに連携を深めて頂きたく思います。



## 平成27年度 学生選書サポーター活動報告

図書館で紹介しています。  
学生選書サポーターが選んだ本を、

置きたい本、他の学生に読んでもらいたい本を選ぶという学生参加型のイベントです。学生日線ならではの選書の効果は高く、よく借りられます。

●活動1・本を選ぶ

書店サイトや本の出版情報から、本を選びます。「他の学生に興味をもつて読んでもらえるような本を選ぶのが大変だった。」「選書をきっかけにさまざまな本があると知りました。」等、「図書館に置く本を選ぶ」という体験を楽しんだようです。

●活動2・POP(ポップ)作成

内容紹介のためのPOP(ポップ)を作ります。色紙やカラーペンを使って、工夫しながら作っています。「本の面白さをどう表現したら伝わるのかを考えたが、かなり苦労した。」「簡単そうに見えて作つてみるとめちゃくちゃ大変でしたが、楽しかった。」等、試行錯誤しながらも楽しんで参加されたようです。



子どもはみんな問題児。	中川李枝子著	新潮社
食に生きて 私が大切に思うこと	辰巳 芳子著	新潮社
もの忘れが増えたら！ 1日5分の脳ストレッチ	眞田 祥一著	主婦の友社
エピソードで学ぶ障害の重い子どもの理解と支援	菅原 伸康著	ミネルヴァ書房
美しい日本語と正しい敬語が身に付く本	—	日経BP社

▲選ばれた本の一部



▲図書館での展示の様子



▲力作ぞろいのPOP

# 感恩のこころ

第11号 平成27年11月発行

発行：関西福祉科学大学教育後援会  
編集：関西福祉科学大学広報誌発行委員会

〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘3-11-1  
TEL 072(978)0088 FAX 072(978)0377